AGC
Your Dreams, Our Challenge

ウレタン塗膜防水システム

サラセーヌ®工法

独立行政法人 都市再生機構

—保全工事共通仕様書（令和5年版）—

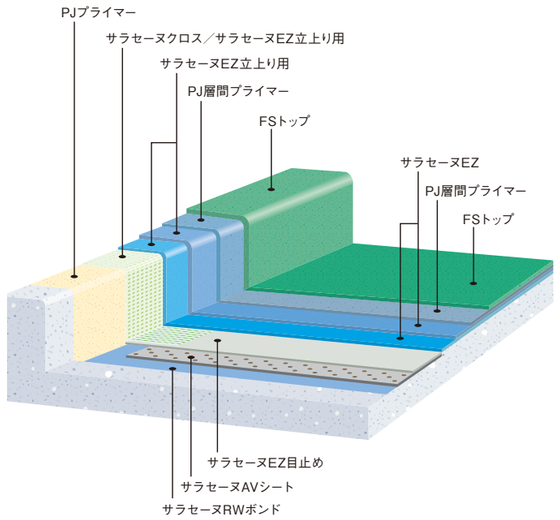
2024年9月版

脱気絶縁複合防水工事

環境配慮型

下記の仕様は、保全工事共通仕様書(令和5年版)に準じます。

脱気絶縁複合防水ウレタンゴム系　1回目

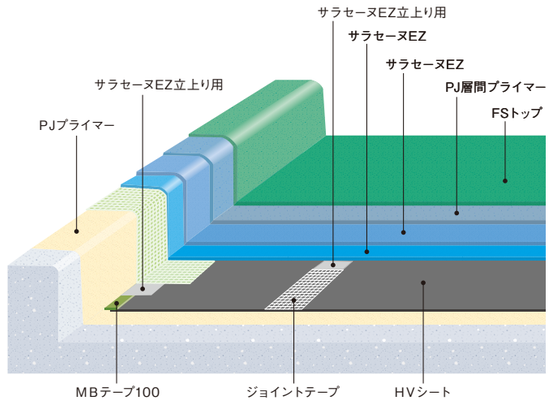


❖ 防水工法(平場部)　サラセーヌUR-AV-EZ54工法

工程	品名	使用量(kg/m²)
1	サラセーヌRWボンド	0.25
2	サラセーヌAVシート	—
3	サラセーヌEZ目止め	1.5
4	サラセーヌEZ	2.0
5	サラセーヌEZ	1.9
6	PJ層間プライマー	0.1
7	FSトップ（2度塗り）	0.5＋0.5

❖ 防水工法(庇、架台天端及び立上り部等)　サラセーヌUR-AV-EZ54工法

工程	品名	使用量(kg/m²)
1	PJプライマー	0.2
2	サラセーヌEZ立上り用	0.8
3	サラセーヌクロス	1.1m
4	サラセーヌEZ立上り用	1.3
5	サラセーヌEZ立上り用	1.2
6	PJ層間プライマー	0.1
7	FSトップ(2度塗り)	0.5＋0.5



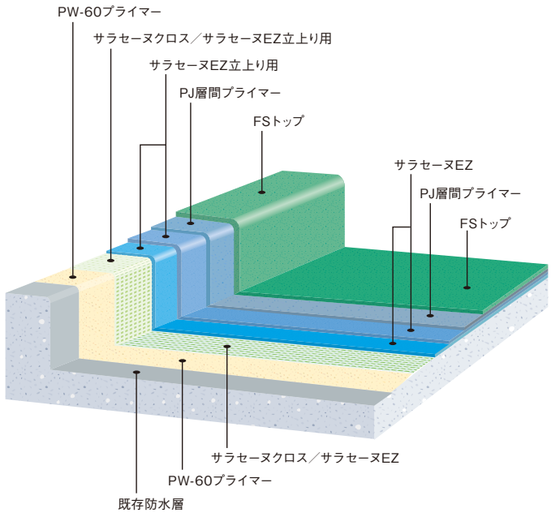
❖ 防水工法(平場部)　サラセーヌUR-HV-EZ30工法

工程	品名	使用量(kg/m²)
1	PJプライマー	0.2
2	HVシート	1.06ｍ
	ジョイントテープ／サラセーヌEZ立上り用	1.06ｍ
	端末処理用テープ MBテープ100	—
3	サラセーヌEZ	2.0
4	サラセーヌEZ	1.9
5	PJ層間プライマー	0.1
6	FSトップ（2度塗り）	0.5+0.5

❖ 防水工法(庇、架台天端及び立上り部等)　サラセーヌUR-HV-EZ30工法

工程	品名	使用量(kg/m²)
1	PJプライマー	0.2
2	サラセーヌEZ立上り用	0.8
3	サラセーヌクロス	1.1ｍ
4	サラセーヌEZ立上り用	1.3
5	サラセーヌEZ立上り用	1.2
6	PJ層間プライマー	0.1
7	FSトップ(2度塗り)	0.5+0.5

脱気絶縁複合防水ウレタンゴム系　2回目以降



❖ 防水工法(平場部)　サラセーヌUR-NEZ39工法

工程	品名	使用量(kg/m²)
1	PW-60プライマー※	0.2
2	サラセーヌEZ	0.8
3	サラセーヌクロス	1.1m
4	サラセーヌEZ	1.5
5	サラセーヌEZ	1.6
6	PJ層間プライマー	0.1
7	FSトップ(2度塗り)	0.5＋0.5

※PJ層間プライマーも使用可能。(使用量0.2kg/m²)

❖ 防水工法(庇、架台天端及び立上り部等)　サラセーヌUR-NEZ39工法

工程	品名	使用量(kg/m²)
1	PW-60プライマー※	0.2
2	サラセーヌEZ立上り用	0.8
3	サラセーヌクロス	1.1m
4	サラセーヌEZ立上り用	1.1
5	サラセーヌEZ立上り用	0.7
6	PJ層間プライマー	0.1
7	FSトップ(2度塗り)	0.5＋0.5

※PJ層間プライマーも使用可能。(使用量0.2kg/m²)

都市再生機構　保全工事共通仕様書(令和5年版)抜粋

2.5.2　脱気絶縁複合防水工事(ウレタンゴム系　全面修繕1回目)

脱気絶縁部(平場部)の工程

工程	材　料	使用量／m²
1	接着剤	0.2kg
	プライマー(注)1	0.15kg
2	通気緩衝シート(注)1､2､3	—
3	ウレタンゴム系塗膜防水材(注)4	1.5kg
4	ウレタンゴム系塗膜防水材(注)4	1.5kg
5	層間プライマー	0.1kg
6	無機質系防水保護塗料	1.0kg

(注) 1 工程1のプライマーは､工程2に自己接着型の通気緩衝シートを使用する場合に用いる。
2 工程2の通気緩衝シートは､ポリマー改質アスファルトシート又はゴムシートとし､合成繊維不織布を使用する場合は､ウレタンゴム系塗膜防水材の塗布量を4.5kg以上とし､塗膜防水材の塗布工程を3工程に分けて塗布する。
3 工程2の通気緩衝シートは､脱気機能を有するものとする。
4 工程3､4のウレタンゴム系塗膜防水材の使用量は､硬化物比重が1.0である材料の場合を示しており､硬化物比重がこれ以上の場合にあっては､所定の塗膜厚を確保するように使用量を換算する。
5 工程6の無機質系防水保護塗料は､性状により工程を増やすことができる。

庇、架台天端及び立上り部等の工程

工程	材　料	使用量／m²
1	プライマー	0.2kg
2	ウレタンゴム系塗膜防水材(立上り用)(注)1	0.5kg
3	補強布	1.1m
4	ウレタンゴム系塗膜防水材(立上り用)(注)1	1.0kg
5	ウレタンゴム系塗膜防水材(立上り用)(注)1	1.0kg
6	層間プライマー	0.1kg
7	無機質系防水保護塗料(注)2	1.0kg

(注) 1 工程2､4､5のウレタンゴム系塗膜防水材の使用量は､硬化物比重が1.0である材料の場合を示しており､硬化物比重がこれ以上の場合にあっては､所定の塗膜厚を確保するように使用量を換算する。
2 工程7の無機質系防水保護塗料は､性状により工程を増やすことができる。

2.5.3　脱気絶縁複合防水工事(ウレタンゴム系　全面修繕2回目以降)

ウレタンゴム系塗膜防水工法・密着仕様の工程(平場)

工程	材　料	使用量／m²
1	プライマー	0.2kg
2	ウレタンゴム系塗膜防水材(注)1､2	0.3kg
3	補強布	1.1 m
4	ウレタンゴム系塗膜防水材(注)1､2	1.5kg
5	ウレタンゴム系塗膜防水材(注)1､2	1.2kg
6	層間プライマー	0.1kg
7	無機質系防水保護塗料(注)3	1.0kg

(注) 1 工程2､4､5のウレタンゴム系塗膜防水材の使用量は､硬化物比重が1.0である材料の場合を示しており､硬化物比重がこれ以上の場合にあっては､所定の塗膜厚を確保するように使用量を換算する。
2 ウレタンゴム系塗膜防水材は工程を増やすことができる。
3 工程7の無機質系防水保護塗料は､性状により工程を増やすことができる。

ウレタンゴム系塗膜防水工法・密着仕様の工程(庇､架台天端及び立上り部等)

工程	材　料	使用量／m²
1	プライマー	0.2kg
2	ウレタンゴム系塗膜防水材(立上り用)(注)1､2	0.3kg
3	補強布	1.1 m
4	ウレタンゴム系塗膜防水材(立上り用)(注)1､2	0.9kg
5	ウレタンゴム系塗膜防水材(立上り用)(注)1､2	0.8kg
6	層間プライマー	0.1kg
7	無機質系防水保護塗料(注)3	1.0kg

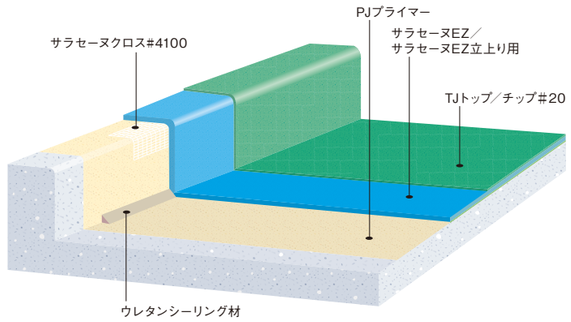
(注) 1 工程2､4､5のウレタンゴム系塗膜防水材の使用量は､硬化物比重が1.0である材料の場合を示しており､硬化物比重がこれ以上の場合にあっては､所定の塗膜厚を確保するように使用量を換算する。
2 ウレタンゴム系塗膜防水材は工程を増やすことができる。
3 工程7の無機質系防水保護塗料は､性状により工程を増やすことができる。

バルコニー等床防水工事

環境配慮型

下記の仕様は、保全工事共通仕様書(令和5年版)に準じます。

ウレタンゴム系塗膜防水工法　1回目



❖ 防水工法　サラセーヌUR-EZ26工法

工程	品名	使用量(kg/m²)
1	PJプライマー	0.15～0.25
2	サラセーヌEZ／ サラセーヌEZ立上り用	2.6
3	TJトップ／チップ#20	0.2

ウレタンゴム系塗膜防水工法　2回目以降

❖ 防水工法　サラセーヌUR-NEZ20工法

工程	品名	使用量(kg/m²)
1	PW-60プライマー※	0.1～0.2
2	サラセーヌEZ／ サラセーヌEZ立上り用	2.0
3	TJトップ／チップ#20	0.2

※下地がウレタン防水層の場合は、PJ層間プライマーも使用可能。(使用量0.1～0.2kg/m²)

都市再生機構　保全工事共通仕様書(令和5年版)抜粋

2.7.2　ウレタンゴム系塗膜防水工法（全面修繕　1回目）

ウレタンゴム系塗膜防水工法の工程(バルコニー等床)

工程	材　料	使用量／m²
1	プライマー	0.15～0.25kg
2	ウレタンゴム系 塗膜防水材 (注)1	2.0kg
3	仕上塗料 (注)2、3	0.2kg

(注) 1 工程2のウレタンゴム系塗膜防水材の使用量は、硬化物比重が1.0である材料の場合を示しており、硬化物比重がこれ以上の場合にあっては、所定の塗膜厚を確保するように使用量を換算する。
2 工程3の平場部における骨材使用量は製造所の仕様による。
3 工程2の防水材及び工程3の仕上塗材は、性状により工程を増やすことができる。

2.7.3　ウレタンゴム系塗膜防水工法（全面修繕　2回目以降）

ウレタンゴム系塗膜防水工法2回目以降の工程(バルコニー等床)

工程	材　料	使用量／m²
1	プライマー	0.1～0.2kg
2	ウレタンゴム系 塗膜防水材 (注)1	1.5kg
3	仕上塗料 (注)2、3	0.2kg

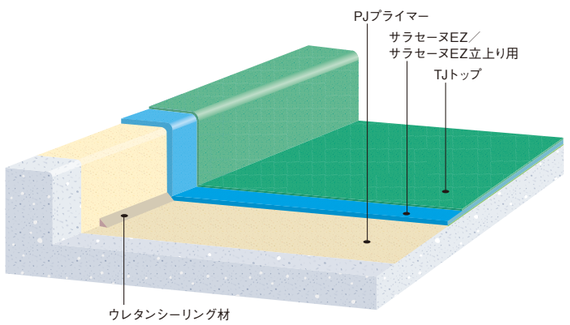
(注) 1 工程2のウレタンゴム系塗膜防水材の使用量は、硬化物比重が1.0である材料の場合を示しており、硬化物比重がこれ以上の場合にあっては、所定の塗膜厚を確保するように使用量を換算する。
2 工程3の平場部における骨材使用量は製造所の仕様による。
3 工程2の防水材及び工程3の仕上塗材は、性状により工程を増やすことができる。

屋上架台・庇等防水工事

環境配慮型

下記の仕様は、保全工事共通仕様書(令和5年版)に準じます。

ウレタンゴム系塗膜防水工法



❖ 防水工法　サラセーヌUR-EZ26工法

工程	品名	使用量(kg/m²)
1	PJプライマー	0.15～0.25
2	サラセーヌEZ／ サラセーヌEZ立上り用	2.6
3	TJトップ	0.2

都市再生機構　保全工事共通仕様書(令和5年版)抜粋

2.8.2　ウレタンゴム系塗膜防水工法

ウレタンゴム系塗膜防水工法の工程(屋上架台・庇等)

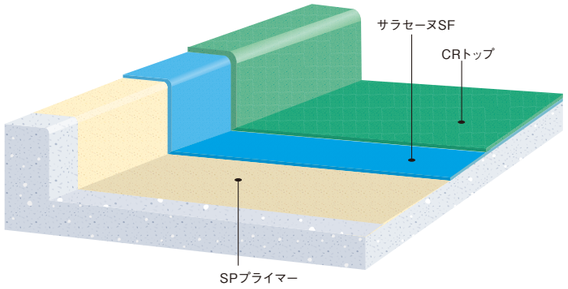
工程	材　料	使用量／m²
1	プライマー	0.15～0.25kg
2	ウレタンゴム系塗膜防水材(注)1	2.0kg
3	仕上塗料(注)2、3	0.2kg

(注) 1 工程2のウレタンゴム系塗膜防水材の使用量は、硬化物比重が1.0である材料の場合を示しており、硬化物比重がこれ以上の場合にあっては、所定の塗膜厚を確保するように使用量を換算する。
2 仕上塗料への骨材混入の適用は特記によるほか、監督員の指示による。
3 工程2の防水材及び工程3の仕上塗材は、性状により工程を増やすことができる。

階段室床防水工事

下記の仕様は、保全工事共通仕様書(令和5年版)に準じます。

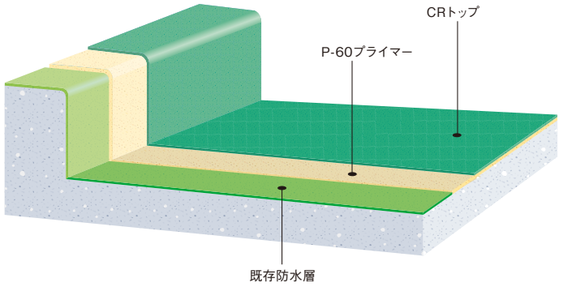
超速硬化ウレタン吹付工法　1回目



❖ 超速硬化ウレタン吹付工法 サラセーヌSK-15工法

工程	品名	使用量(kg/m²)
1	SPプライマー	0.15
2	サラセーヌSF	1.5
3	CRトップ	0.15

超速硬化ウレタン吹付工法　2回目以降(仕上塗料塗替え)



❖ 超速硬化ウレタン吹付工法 サラセーヌSKT-15工法

工程	品名	使用量(kg/m²)
1	P-60プライマー	0.1 ～ 0.15
2	CRトップ	0.15

都市再生機構　保全工事共通仕様書(令和5年版)抜粋

2.10.2　超速硬化ウレタン吹付工法(全面修繕　1回目)

超速硬化ウレタン吹付工法の工程

工程	材　料	使用量／m²
1	一液性湿気硬化型のウレタンゴム系プライマー 又はエポキシ系プライマー	0.15kg
2	超速硬化ウレタン吹付け材	1.5kg
3	仕上塗料	0.15kg

2.10.3　超速硬化ウレタン吹付工法(全面修繕　2回目以降)(仕上塗料塗替え)

仕上塗料塗り替え工法の工程

工程	材　料	使用量／m²
1	一液性湿気硬化型のウレタンゴム系プライマー 又はエポキシ系プライマー	0.1 ～ 0.15kg
2	仕上塗料	0.15kg

材料一覧／消防法関係

	品名		荷姿	消防法関係		特長・用途
				危険区分	液比重	
プライマー／ボンド	サラセーヌRWボンド	主剤	10kg	非危険物	—	水性エポキシ系AVシート用接着材 主剤：硬化剤=2：1
		硬化剤	5kg	非危険物	1.00	
	PJプライマー	1成分	16kg	4類1石（非水溶性）	1.01	弱溶剤ウレタン系プライマー
	PW-60プライマー	主剤	0.5kg×2	4類2石（非水溶性）	1.10	塗り重ね用水性ウレタン系層間プライマー 主剤：硬化剤=1：10
		硬化剤	5kg×2	非危険物	1.01	
	PJ層間プライマー	1成分	5kg	4類1石（非水溶性）	1.04	FSトップ前処理用 弱溶剤ウレタン系層間プライマー
	SPプライマー	1成分	16kg	4類1石（非水溶性）	0.98	一液性、湿気硬化型プライマー
	PE-670プライマー	主剤	8kg	4類2石（非水溶性）	1.50	エポキシ系鉄部錆止プライマー 主剤：硬化剤=4：1
		硬化剤	2kg	4類1石（非水溶性）	1.00	
	P-60プライマー	1成分	5kg	4類1石（非水溶性）	0.89	一液性、湿気硬化型プライマー
防水材	サラセーヌEZ	主剤	6kg、8kg、180kg	4類4石	1.03	平場用防水材 JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形 平場用認証製品 主剤：硬化剤=1：2
		硬化剤	12kg、16kg、180kg×2	4類4石	1.60	
	サラセーヌEZ立上り用	主剤	8kg	4類4石	1.03	立上り用防水材 JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形 立上がり用認証製品 主剤：硬化剤=1：2
		硬化剤	16kg	指定可燃物可燃性固体類	1.60	
	サラセーヌEZ目止め	主剤	8kg	4類4石	1.03	AVシート目止め用高粘度防水材 JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形 共用認証製品 主剤：硬化剤=1：2
		硬化剤	16kg	指定可燃物可燃性固体類	1.60	
	サラセーヌSF	主剤	18kg、200kg	4類4石	1.13	超速硬化ウレタン吹付材
		硬化剤	17kg、182kg	4類3石（非水溶性）	1.06	
	サラセーヌSトナー	缶	0.8kg、8kg	4類4石	1.61	SF用着色添加剤（ライトグレー）
保護仕上材	FSトップ	1成分	20kg	非危険物	1.50	骨材入り水性保護仕上材
	TJトップ	主剤	6kg	4類2石（非水溶性）	0.99	弱溶剤アクリルウレタン系保護仕上材 主剤：硬化剤=2：3
		硬化剤	9kg	4類2石（非水溶性）	1.16	
	CRトップ	主剤	6kg	4類2石（非水溶性）	0.95	速硬化型アクリルウレタン系保護仕上材 主剤：硬化剤=2：3
		硬化剤	9kg	4類2石（非水溶性）	1.17	
副資材	サラセーヌAVシート	幅×長さ	1m×20m	—	—	表面処理ポリエステル系通気緩衝シート
	スリットテープ	幅×長さ	50mm× 100m	—	—	AVシート突合せ部処理用テープ
	サラセーヌクロス#4000	幅×長さ	1m×50m	—	—	補強張り用クロス
	サラセーヌクロス#4100	幅×長さ	100mm×50m	—	—	補強張り用クロス
	SRステンレスベント	箱	2個	—	—	脱気装置（逆流防止弁付き脱気筒）
	サラセーヌSUS304脱気筒	箱	2個	—	—	脱気装置（脱気筒）
	SRパラベント	箱	10個	—	—	脱気装置（逆流防止弁付き脱気盤）
	サラセーヌ立上り用脱気盤	箱	5枚	—	—	脱気装置（立上り用脱気盤）
	HVシート	幅×長さ	1.04m×15m	—	—	改質アスファルト／ポリエステルフィルム、 自着層付き通気緩衝シート
	ジョイントテープ	幅×長さ	100mm×50m×4巻	—	—	ガラス繊維織布／ポリエステルフィルム、 HVシートジョイント処理用テープ
	MBテープ100	幅×長さ	100mm×20m×8巻	—	—	自着層付きブチルゴムテープ、 HVシート端末処理用テープ
	チップ#20	箱	0.3kg×4袋	—	—	粗面仕上材（TJトップ質量比2%）
	TKパウダー	缶	5kg	—	—	増粘用添加剤（サラセーヌEZ質量比5～15%）
	ECO用希釈剤	1成分	16L	4類1石（非水溶性）	0.77	環境対応型防水材専用希釈剤
	ウレタン硬化促進剤EX	1成分	4kg	4類4石	0.99	特化則非該当ウレタン防水材専用硬化促進剤

記載されている内容は、予告なく変更する場合があります。

SARACENU

AGCポリマー建材株式会社

首都圏支店 〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町1-3-8（沢の鶴人形町ビル） TEL：03-6667-8421
仙台営業所 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡2-2-10（セントールビル） TEL：022-299-6371
名古屋営業所 〒460-0003 名古屋市中区錦2-19-25（日本生命広小路ビル） TEL：052-219-5491
大阪営業所 〒550-0013 大阪市西区新町3-11-3（高六大阪ビル） TEL：06-6606-9910
九州営業所 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-12-10（第7グリーンビル） TEL：092-431-5154
北海道出張所 〒060-0061 札幌市中央区南1条西9丁目（株式会社三田商店内） TEL：011-241-5120

サラセーヌ公式サイトへはこちらから